



こう よう ぎん 神辺西中学校だより 黄葉山

学校教育目標

「自ら学び、自ら考え、仲間とともに、将来を
しなやかに生き抜く力を身につける生徒の育成」

中学校区のめざす子ども像

- ・自分の考えを持ち伝え合う子（知）
- ・人の気持ちがわかり協力できる子（徳） 2022年（令和4年）7月22日
- ・健康で粘り強い子（体）

県内初の快挙！ 陸上部 全国大会へ

7月2日（土）・3日（日）Balcom BMW 広島総合グランドで行われた第68回 全日本中学生通信陸上競技広島県大会において本校陸上部が大活躍を見せ、全国中学校体育大会（福島県「とうほう・みんなのスタジアム」）への出場を決めました。



女子リレーチーム（重政明里さん、三好菜々美さん、竹堂ゆうみさん、三好美羽さん）は4×100mリレーで他を圧倒するレースを見せ、予選で49秒02、決勝でも49秒23とし、予選・決勝ともにこれまでの大会記録を塗り替え、過去の広島県記録にあとわずかに迫る好タイムで優勝しました。男子リレーチーム（谷口風心くん、吉村光佐くん、岡田真輝くん、佐藤蓮くん）は予選4位で決勝に進出、チャレンジするレースを展開し大逆転での優勝となりました。広島県の4×100mリレーで男女が同一校で優勝、全国大会に出場するのは県内初の快挙です。この大会では佐藤蓮くんが男子100mで4位となり、全国大会出場のための標準記録を突破し全国大会出場を決めています。

7月16日（土）・17日（日）にはエディオンスタジアム広島において第49回広島県中学校陸上競技選手権大会が開催され女子リレーチームが優勝。1年女子100mの三好美羽さん、共通女子100mHの竹堂ゆうみさんも優勝し全国大会出場を決めました。本大会では3年女子100mで三好菜々美さんが全国大会出場の標準記録まであと100分の2秒という好タイムで2位入賞を果たしたのをはじめとし、重政明里さんが4位入賞。1年男子100mで谷口風心くんが2位となるなど神辺西中の選手が大活躍を見せています。



中国大会には女子リレーチームをはじめ、3年男子100mに佐藤蓮くん、1年男子100mの谷口風心くん。3年女子100mの三好菜々美さん。1年女子100mの三好美羽さん。共通女子100mHの竹堂ゆうみさんが出場権を獲得しています。（鳥取県「YAMATA スポーツパーク」）

感謝の気持ちを持って 中学生の主張大会

7月9日（土）福山誠之館高等学校講堂において第41回中学生の主張大会が開催されました。本校からは3年生の西村彩加さんが「部活動で学んだこと」と題して意見発表を行いました。

西村さんは、つらい気持ちでいる時、先輩から掛けられた優しい言葉に救われたという自らの体験をもとに、つらい時でも支えてくれる人がいることに気づき、感謝の気持ちを常に持って生活することを心掛けていること。その経験から、自分も周りにいる人に優しく思いやりを持って接するよう心掛けていることを凛とした立派な姿で発表してくれました。



他の人の出来ていないことを見つけるのはたやすいことです。他者の良い面や頑張っていることを見つける生き方の方がよほど価値あることだと西村さんの発表から感じました。なにより全ての人が相手の気持ちに寄り添って、優しい言葉を掛けることができれば、誰もが生きやすい社会になりますね。

神辺本陣「動く江戸空間」に向けて

11月7日（日）神辺本陣と三日市通りを会場として「神辺本陣『動く江戸空間』」が予定されています。当日は本校生徒からも希望者を募り、黒田家大名行列や素読の会に参加を予定しています。

大名行列に向けての取組みの一環として7月14日（木）神石高原町より講師の先生をお招きしてわらじづくりを行いました。当日は1年から3年までの希望者23人が放課後集まって、講師の先生の説明を聞いた後、わらじづくりに取り掛かりました。

なかなかうまくいかず苦戦している生徒が多くいましたが、丁寧な指導を受け多くの生徒が自分で編めるようになり、どうにか片足分はほとんどの生徒が完成させることができました。残りは講師の先生が仕上げてくださいることにしています。

ここで制作したわらじは11月7日の大名行列で参加者が身に付けることになっています。



この様子は、中国新聞と山陽新聞の記者による取材を受け、両新聞に取り上げられました。

